

(4) 科目配当表（現象数理学科）

科目名についている○印は必修科目，△と▲は選択必修科目を表す。

△のうち2単位以上修得しなければならない。

▲のうち18単位以上修得しなければならない。

科目区分	科目名	単位数	総授業時間数	配当年次（●印）				備考
				1年次	2年次	3年次	4年次	
英語	○ English I A	1	30	●				
	○ English I B	1	30	●				
	○ English I C	1	30	●				
	○ English I D	1	30	●				
	○ English II A	1	30		●			
	○ English II B	1	30		●			
	○ English III A	1	30			●		
	○ English III B	1	30			●		
	English Test Preparation I	1	30			●		
	English Test Preparation II	1	30			●		
日本語	○ 日本語 I A	1	30	●				外国人留学生対象
	○ 日本語 I B	1	30	●				
	○ 日本語 I C	1	30	●				
	○ 日本語 I D	1	30	●				
	○ 日本語 II A	1	30		●			
	○ 日本語 II B	1	30		●			
	○ 日本語 II C	1	30		●			
	○ 日本語 II D	1	30		●			
総合教育科目  教養	哲学A	2	30			●		
	哲学B	2	30			●		
	科学哲学A	2	30			●		
	科学哲学B	2	30			●		
	芸術史A	2	30			●		
	芸術史B	2	30			●		
	言語学	2	30			●		
	日本語表現	2	30			●		
	歴史学A	2	30			●		
	歴史学B	2	30			●		
	考古学A	2	30			●		
	考古学B	2	30			●		
	地理学A	2	30			●		
	地理学B	2	30			●		
	日本国憲法	2	30			●		
	政治学A	2	30			●		
	政治学B	2	30			●		
	経済学A	2	30			●		
	経済学B	2	30			●		
	経営学A	2	30			●		
経営学B	2	30			●			
社会学A	2	30			●			
社会学B	2	30			●			
心理学A	2	30			●			
心理学B	2	30			●			

科目区分	科目名	単位数	総授業時間数	配当年次 (●印)				備考		
				1年次	2年次	3年次	4年次			
総合教育科目	教養	情報と職業	2	30			●			
		社会と数学	2	30			●			
		社会調査法	2	30			●			
		情報技術概論	2	30			●			
		環境とエネルギー	2	30			●			
		スポーツ・健康科学	2	30			●			
		スポーツ実習 A	1	30			●			
		スポーツ実習 B	1	30			●			
		スポーツ実習 C	1	30			●			
		スポーツ実習 D	1	30			●			
		スポーツ実習 E	1	30				●		
		総合数理テーマ講座	2	30			●			
		留学認定科目	1	15			●		4単位まで認定することができる。	
		全学共通総合講座 (学部間共通総合講座)	2	30			●		メディア授業科目併設	
基礎教育科目	数理基礎	○ 総合数理概論	2	30	●					
		○ 微積分 I	2	30	●				微積分 I 又は微積分 I ベーシックコースを履修	
		○ 微積分 I ベーシックコース	2	60	●					
		○ 微積分 II	2	30	●					
		○ 微積分演習	2	30	●					
		○ 線形代数 I	2	30	●					
		○ 線形代数 I 演習	2	30	●					
		○ 線形代数 II	2	30	●					
		○ 線形代数 II 演習	2	30	●					
		○ 統計学入門	2	30	●					
		○ 多変量解析基礎	2	30		●				
		○ 物理学 I	2	30	●				物理学 I 又は物理学 I ベーシックコースを履修	
		○ 物理学 I ベーシックコース	2	60	●					
		○ 物理学 II	2	30	●					
		○ 物理学 III	2	30		●				
		○ 化学入門	2	30	●					
		○ 生物学入門	2	30		●				
	情報基礎	○ プログラミング演習 I	4	60	●					
		○ プログラミング演習 II	4	60	●					
		△ アルゴリズム論	2	30		●				
		△ コンピュータ基礎	2	30		●				
		△ 論理とデジタル回路	2	30		●				
		○ 技術・情報倫理	2	30		●				
		○ 知的財産	2	30		●				
	専門教育科目	現象数理の基礎	○ 数理リテラシー	2	30	●				
			○ 現象のモデリングとシミュレーション	4	60		●			
			○ 現象と数学	2	30		●			
コンピュータ数理		○ 情報処理	2	30	●					
		○ 現象数理学実験	2	60		●				
		▲ 実験データ解析演習	2	30		●				
		▲ 応用プログラミング演習	2	30		●				
		▲ 数学とメディア	2	30		●				
		▲ 信号処理とフーリエ変換	2	30		●				
		▲ 数理と可視化	2	30		●				

科目区分	科目名	単位数	総授業 時間数	配当年次 (●印)				備考
				1年次	2年次	3年次	4年次	
専門教育科目	コンピュータ数理	▲ つながりの数理	2	30		●		
		▲ 最適化の数理	2	30		●		
		現象数理A	2	30			●	
		現象数理B	2	30			●	
		応用複素関数	2	30			●	
		偏微分方程式と数値解析	2	30			●	
	社会数理	▲ 確率・統計	2	30	●			
		▲ 微分方程式	2	30		●		
		▲ 電磁気とベクトル解析	2	30		●		
		▲ 数理統計学	2	30		●		
		▲ 金融経済分析	2	30		●		
		数理ファイナンス基礎	2	30			●	
		応用測度論	2	30			●	
		物理数学	2	30			●	
		数理生物学	2	30			●	
		確率過程	2	30				●
	数理医学	2	30				●	
	創造数理	○ 数学の方法	2	30	●			
		幾何	2	30		●		
		▲ トポロジー	2	30		●		
		▲ ベクトル空間	2	30		●		
		▲ 数学解析	2	30		●		
		▲ 代数	2	30		●		
		現象と代数	2	30		●		
		複素関数	2	30		●		
		複素関数演習	2	30		●		
		創造数理A	2	30			●	
		創造数理B	2	30			●	
		実験数学教育	2	30			●	
		数学史	2	30				●
		応用幾何	2	30				●
	演習・研究	○ 総合数理ゼミナール	2	30	●			
		○ 現象数理研究Ⅰ	2	30			●	
○ 現象数理研究Ⅱ		4	60			●		
○ 現象数理研究Ⅲ		4	60				●	
○ 現象数理研究Ⅳ		4	60				●	
大学院 先端数理科学研究科 設置科目		2	30				●	先端数理科学研究科が定める科目を卒業要件外として8単位まで履修可

※備考中のメディア授業科目とは、学則第19条の3第2項に定める方法により履修する授業科目をいう。メディア授業科目を履修し修得した単位は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち60単位を超えないものとする。毎年度の授業計画により、授業の実施方法を変更することがあるため、メディア授業科目の対象科目及び履修上の注意事項は必ず各年度の各シラバスを参照すること。